



❀❁❂❃❄❅❆❇❈❉❊❋❌❍❎❏❐❑❒❓❔❕❖❗❘❙❚❛❜❝❞❟❠❡❢❣❤❥❦❧❨❩❪❫❬❭❮❯❰❱❲❳❴❵❶❷❸❹❺❻❼❽❿⓫⓬⓭⓮⓯⓰⓱⓲⓳⓴⓵⓶⓷⓸⓹⓺⓻⓼⓽⓾⓿⓰⓱⓲⓳⓴⓵⓶⓷⓸⓹⓺⓻⓼⓽⓾⓿

女性の不定愁訴について

「不定愁訴」とは、どんな症状のことを想像されますか？

具体的には、頭痛等の身体の痛み、食欲低下、嘔気等の消化器症状、動悸等の心臓の症状、しびれ等の神経症状、不眠、イライラ等の精神症状、月経不順等の婦人科系の症状、倦怠感等の全身症状を含みます。女性に多いことでも知られています。多彩な症状ゆえにドクターショッピングに終わる場合も多いようです。スムーズに治療に結びつけるには、どのように向き合えばよいのでしょうか。

まず、どのような病態が不定愁訴の背景にあり得るのか、順番に挙げてみましょう。一般的な身体疾患としては、甲状腺機能の亢進症、及び低下症が外せません。前者ではふるえ、動悸の他に、情動不安定などの精神症状も認めます。後者でも倦怠感の他に、抑うつ気分なども認めます。婦人科系の身体疾患では、更年期障害や月経前症候群の頻度が高いでしょう。前者ではのぼせ、動悸、寝汗、不眠、抑うつ気分、関節痛など、後者では倦怠感、頭痛、めまい、イライラなど、実に多彩です。一方、精神疾患はどうでしょうか。

うつ病には様々なタイプがあります。抑うつ気分などの気分症状の自覚が乏しく、倦怠感、食欲低下、頭痛などの身体症状が主訴となる場合は、不定愁訴として見逃されている可能性があります。動悸、息切れなどの症状は、パニック障害を考慮する必要があります。

このような病態は診断がつけば、疾患に応じて、内科、婦人科、精神科等で治療を受けることができます。しかし、診断がつかない場合は、どうしたらよいのでしょうか？

近年、そのような症状は「医学的に説明できない症状（MUS）」として対処する風潮があり、総合診療科や心療内科が得意としています。前述の病態の全てを考慮した上で仮にMUSと診断されたとしても、「検査に異常はない」「気のせいだ」で診察終了とはなりません。原因は特定できずとも、症状の苦しみを共有し、経過観察と同時に可能な対症療法を提案してくれるでしょう。

不定愁訴を「気のせいだ」「受診せず我慢しよう」と一人で悩まず、そして身体科や精神科の受診に抵抗があるなら、総合診療科や心療内科を受診してみましょう。

*** 心療内科について ***
毎週月曜日午後に行っています。

★予約・問合せは
太子道診療所代表電話
TEL 075-822-2660

入職や、入学のための健康診断は、正確に作成させていただくために、予約制でお願いしています。時間がかかる項目が含まれるなど、定員一杯でお断りする場合がありますので、余裕を持ってご予約下さい。詳しくはHPを御覧ください。

*** お問い合わせ先 ***
太子道診療所健康サポートセンター
TEL 075-822-8246



*** 健康友の会の会員様は、大腸がん検査(便潜血検査)を無料で受診いただけます。**